

背景/課題・ニーズ

背景

- ✓ 東京都を訪れた外国人旅行者は約1,377万人（対前年比5.1%増）と**過去最多**※1
- ✓ 外国人旅行者の消費は、増加傾向。そのうち、**中国人が全体の38.4%**を占める※2
- ✓ 旅行中に困ったことの上位は、「**コミュニケーションがとれないこと**」と「**多言語表示の少なさ**」※3

課題・ニーズ

- ✓ 年々増加するインバウンド需要を取り込み、**売上拡大**をしたい（特に中国人需要）
- ✓ バーコード決済のサービスの種類が多く、**どのサービスにすればいいのか分からない**
- ✓ **外国語でのコミュニケーション（会話・翻訳）が出来るスタッフがいない**。外部へ委託する費用も**厳しい**

ICTソリューション活用後

- マルチ決済サービス「StarPay」による**決済環境の構築**
- 肝心な決済環境は、「フレッツ光〔24時間出張修理オプション〕」と「ギガらくWi-Fi」で**サポート体制を構築することで、安心運用**



その他の課題解決への広がり

- 小型「通訳」デバイスを活用した**外国語での会話の補助**
- AI翻訳エンジンによる翻訳受託を利用し、**低価格・短納期**での多言語表示のPOP等の案内を作成
- FREE Wi-Fiの設置による**外国人旅行者の誘引**

※1：東京都「平成29年訪都旅行者数等の実態調査結果」、※2：観光庁「訪日外国人消費動向調査 2017年」、※3：観光庁「訪日外国人旅行者の受入環境整備における国内の多言語対応に関するアンケート」結果

*「StarPay」は、株式会社ネットスターズが提供するWeChat Pay、Alipay、LINE Pay、d払い、PayPay、au PAY、Origami Pay、merpay、ゆうちょPay、楽天Payの国内外の決済サービスを一つのアプリで利用できる店舗向けのマルチ決済サービスです。

背景/課題・ニーズ

背景

- ✓ 2019年10月に消費税増税が予定されており、あわせて「軽減税率制度」の実施も予定されている
- ✓ 軽減税率制度により、軽減税率8%と標準税率10%の商品が混在するため、事業者側は対策が必要
- ✓ 経済産業省は、2025年までにキャッシュレス決済比率を40%まで高める目標を定めている

課題・ニーズ

- ✓ 消費税増税の需要の冷え込みの影響を最低限に抑え、売上を維持・拡大したい
- ✓ 複数税率に対応したレジの導入等やシステムの改修が必要となる他、申告時には区分・集計が必須
- ✓ キャッシュレス決済の費用 (イニシャル・決済手数料) を抑えて導入したい

ICTソリューション活用後

- マルチ決済サービス「StarPay」による **決済環境の構築**
- 肝心な決済環境は、「フレッツ光〔24時間出張修理オプション〕」と「ギガらくWi-Fi」で **サポート体制を構築することで、安心運用**



その他の課題解決への広がり

- クラウド型POSを活用し、**低コストでレジ機能・売上管理機能等を実現** (スマホ・タブレット・PCで構築)
⇒導入コストを最小限に複数税率等「軽減税率制度」への対応が可能
⇒常に最新のPOSシステムが利用可能 (基本的にシステムの改修等は不要)
- レジ周りの**デバイスを安定的に運用**する Wi-Fi環境の整備